

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那谷発ヤマノミクス!
事業主体 (連絡先)	一般社団法人アスタルプロジェクト 伊那市坂下3312-1 080-5146-4599(代表・八木)
事業区分	産業振興及び雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,437,744円 (うち支援金: 3,328,000円)

事業内容

人口減少と地域経済の縮小という地方の危機に立ち向かうため、アルプスと自然という地域資源を活用し、「登山基地・伊那」「アウトドアレジャーの拠点・伊那」の雰囲気醸成し、継続した集客で地域全体の収益と移住定住につなげるプロジェクト。「YAMAFES2017」を柱に、伊那谷の魅力を発信する冊子を発行。インバウンド向け情報発信も開始し、地域が連携して魅力を認識し、人を呼び込み雇用を生み出す活動。



【YAMAFES】

【目標・ねらい】

- ①地域の魅力を地域住民が共有
- ②誘客による経済効果
- ③地域の情報発信のハブとなる
- ④関係者の連携による相乗効果

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

「YAMAFES」は、いよいよアウトドアフィールドの長谷エリアでの会場展開を実現。水上アクティビティーやシャワークライミング等のコンテンツに、首都圏からの集客にも成功した。Facebookのリーチ数も増加を続けており、情報発信の基盤が整いつつある。「山」「アウトドア」「街」をつなげた情報発信にも取り組み、周遊してもらえるような観光ルートを提示することで、経済効果の向上にもつながった。地域で不足していたインバウンド向けの発信も開始した。

※自己評価【B】

【理由】地域の経済効果につなげるための基盤は整いつつある。アウトドアレジャーに取り組む民間事業者の態勢づくりが課題で、今後当団体が支援していく。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

アウトドアをコンテンツとする体験アクティビティーが、都会からも需要があることがはっきりとした。まだ地域の事業者が単独で収益化するだけの態勢が整っていないため、今後は当団体が支援して事業者同士のネットワーク化を図っていく。一連の集客の拠点となる伊那市中心部の活性化も当団体が中心となって進めており、「登山基地・伊那」「アウトドアの拠点・伊那」として

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある